

自分は「何者」なのか

ありのままの自分であるために 人生を切りひらいた自身の体験を告白！！



高校生の頃の私です。本当は自分は「男の子」ではないと自覚して生活していました。

私の名前は高野 晶(たかの あき)です。生まれた時の名前は高野 晃(たかの あきら)でした。私が生まれた時の戸籍の性別は男性でした。私は男性として生まれましたが、32歳の時に性別適合手術を受け、戸籍の性別を女性に変更しました。今は女性として生きているトランスジェンダーです。

現在、私は女性として美容系の形成外科医院でエステティシャン、ビューティーカウンセラーの仕事をしています。

「男性」ということに、違和感を覚えたのはいつ？

自分自身の性別に違和感を感じるようになったのは3、4歳の頃です。男の子と遊ぶのが苦手で馴染めず、女の子と遊ぼうとすると「男の子なんだからあっち行って」と言われるので、一人であることが多かったですね。小学生の頃は、行動が女の子らしいことが原因でいじめられることが沢山ありました。異性に興味が出てくる中学生の思春期、初恋の相手は男の子でした。その時、自分を受け入れないといけないと思うとショックで、同時にこれからの人生を男性として生きていくことが、不安で仕方ありませんでした。

当時は「性同一性障害」という言葉がまだなかったので、自分が本当は何なのか分からず、誰にも言えずに独りで悩んでいました。

お姉ちゃんのヘアゴムをつけさせてもらって、ご満悦な幼少期です。

父にキャッチボールしよう、と誘われましたが、本当はやりたくなかった。



じぶんらしく × ありのままで × 高野 晶

profile

高野 晶 (たかの あき) さん

1976年11月16日香川県高松市生まれ。性同一性障害の当事者(男性から女性へ戸籍の性別変更をしている)で、高松のLGBTQサポートグループ「プライド香川」の副代表を務めている。

現在はエステティシャン、ビューティーカウンセラーとして働く。仕事の傍ら、セクシュアルマイノリティの理解を深めるための講演を、自治体や教育機関・企業向けに10年以上実施している。



“受け入れる” ことができれば

『カミングアウト』をしたときのことを教えて！



私の父と母です。
「自分たちは味方になるから
頑張りなさい」と受け入れて
くれました。



私のカミングアウトを受け入れてくれたデザイン会社の仲間です。



LGBTQサポートグループ「プライド香川」のメンバーと撮った集合写真。(数年前)写真に写るメンバーのほとんどが、香川県のそれぞれが暮らす町でパートナーシップ(宣誓)制度に登録しています。

お父さん、お母さんにもお話を伺いました！



高野 晶さんはカミングアウト後、両親とプライド香川を訪れ、一緒になって多様な性について知識をつけていったそうです。カミングアウト直後は、決してすぐに受け止められる状況ではなかったと思いますが、家族の絆を感じられるコメントをいただきました。

21歳の頃、初めて親友と家族(姉に相談した後に両親に打ち明けました)に「自分は実は男の子ではない」ということをカミングアウトしました。それはとても勇気がある、人生をかけた告白でした。その後、偶然手にした本から、自分が性同一性障害であるということを知りました。病院で診断も受け、初めて自分が「何者」なのかを認められることができて、ほっと安心しました。

私は、デザイン会社でデザイナーとして働くことになりました。男性として入社した私は、「彼女はいるの？」と何気ない会話の中で男性として扱われることにだんだんとストレスが溜まっていきます。私は先輩に性同一性障害であることを打ち明け、これまでの経緯を話しました。先輩は話を聞いて「よく話してくれたね、勇気がいったでしょう」と言ってくれて、これからどんな風に働きたいか相談に乗ってくれました。後に、会社全体の会議でみんなに知ってもらうことになったのですが、「びっくりしたけど、別にいいじゃないですか」、「仕事さえできたら問題ないよ!」と、みんなそんな感じの反応で、男性だと思って対応していたことを謝って、本当の私を受け入れてくれました。

リスクがあっても自分の人生を変えていくな、本当の自分を受け入れ、伝える勇気が必要だと思えた瞬間でした。

人生、もっと自分らしく

私は今、美容系の形成外科のエステティシャンとして働いています。気づけばもう、ここで働き続けて17年が経ちます。今ではもちろん更衣室も一緒に、お客様もスタッフからも女性として見てくれています。しっかりと信頼関係が築けたお客様に、「実は私は…」とカミングアウトすると、「よく話してくれたね。ありがとう」と言ってくれることが多く、涙を流される方もいました。性別適合手術も終えて、戸籍の性別も女性に変更したので、堂々と保険証を出すこともできます。選挙投票の本人確認で戸惑われることもなくなり、何より病院に何の抵抗もなく行けるようになりました。

私は普段の仕事とは別にトランスジェンダー・性同一性障害の当事者として、学校や行政機関、その他の企業などさまざまな場所で、多様な性についての理解を深めてもらうための講演をしています。講演をはじめもう10年以上経ちますが、昔の私のように、『誰にも言えずに一人で自分の性に悩み、思い詰めて自ら命を断つ』という選択肢が生まれないように、セクシュアルマイノリティのサポートを続けていきたいと思っています。特に、まだ自分の生き方を自分で選択出来ない子どもたちのサポートはとても大切だと思っています。

父:はじめは驚きました。『一過性のものだろう』とも思いました。娘(晶さん)が幼いころから野球やサッカーに興味を持っていなかったのも納得ですね。

私の父は昔ながらの考え方で、「男らしく」は当たり前、私はバスケットボールをしたかったのですが、剣道や柔道をしないさいと言われていました。だからこそ、自分の子どもには、人に迷惑をかけなければ自分らしく自由にやってほしいという気持ちです。

母:娘は手紙を通じてカミングアウトしてくれました。男の子、女の子の前に、自分の子どもであることには変わりありません。セクシュアリティにかかわらず、子どもとして愛しています。

高野 晶さんと考えよう

“多様な性(LGBTQ+)”のこと



『LGBTQ+』って最近聞くようになったけどどういうこと？
「自分の周りに当事者はいないよ。」

本当にそうでしょうか。さぬき市は、性別などにとらわれることなく、一人ひとりの人権を尊重し、誰もが個性と能力を発揮できるまちを目指しています。

人の多様性を認め合い、誰もがありのままに暮らせるよう、まずは性の多様性を知ることからはじめませんか？

そもそも

「LGBTQ+」って？ セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の総称のひとつ



セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を代表するレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの5つの頭文字を取った言葉に、「+（プラスアルファ）」を付けた通称です。性の認識がどんどん多様になる現代社会で生まれた、性は「男性と女性だけ」ではないということが分かりやすいように広まりました。

L レズビアン

同性を好きになる女性



G ゲイ

同性を好きになる男性



B バイセクシュアル

両方の性を好きになる人



T トランスジェンダー

からだの性とところの性が一致しない人



Q クエスチョニング(Xジェンダー)

どのセクシュアリティにも当てはまらない人

例えば！

+ プラスアルファ

代表的な5つの他にも、まだまだたくさんのセクシュアリティ(性のあり方)があるよ。

・アセクシュアル
他者に対して性的興味を持たない人

・パンセクシュアル
あらゆるセクシュアリティの相手を好きになる人

性を表す4つの要素とは？

セクシュアリティ(性のあり方)は、一つの基準で測れるものではありません。「性を表す4つの要素」がさまざまに組み合あって、多様なセクシュアリティが生まれています。性のあり方はグラデーションということです。

こころの性（性自認） Gender Identity 心の性、自己認識。女性・男性どちらか、はっきりと区別されない場合もある。	からだの性 生物学的な性。生まれつき身体的特徴で男性・女性を判別できない場合（性分化疾患）もある。
ふるまう性（性役割） Gender role 「らしさ」の性。社会的・文化的性。服装やふるまいなど、自分を表現する性。	好きになる性（性的指向） Sexual Orientation 恋愛感情や性的興味を持つ性。

あなたはどこにあてはまる？



「SOGIハラ」って何のこと??

性的指向・性自認に関連して、差別的な言動、いじめや暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせをすることや、望まない性別での生活の強要、不当な異動や解雇をすることなどを「SOGIハラ」といいます。

「SOGI(ソジ)」とは、多様な性のあり方を表す言葉で、4つの要素のうち、好きになる性(Sexual Orientation)と自分のこころの性(Gender Identity)の英語の頭文字をとった言葉です。

気をつけて！ カミングアウトとアウトティング

本人の許可なく本人が公にしていなかった性的指向や性自認を他の人に伝え、広まってしまうことを「アウトティング」といいます。アウトティングは重大な人権侵害です。他の人に話す場合は、本人の了解を得てからにしましょう。

アウトティングはプライバシーの侵害にあたるだけでなく、学校や職場、地域で居場所をなくしたり、命にかかわるケースもあります。

【カミングアウト】

これまで公にしていなかった自分の性的指向や性自認などを本人が表明すること

【アウトティング】

本人が公にしていなかったことを他人が暴露すること

もし、カミングアウトされたら・・・??

誰でもカミングアウトを受ける可能性があります。打ち明けられたということは、「あなたならわかってくれるだろう」、「あなたにはわかってほしい」とあなたを信頼しているというメッセージです。最後まで相手の話を聞くようにしよう！

①「話してくれてありがとう」

相手に伝えるまでにとっても悩み、話したことによってこれまでの関係が壊れるのではないかと心配している場合もあります。

カミングアウトした人がほっと安心できる言葉を伝えられたらいいですね。

②受けとめる

本人の性のあり方やこころの状況を決められるのは本人だけです。

相手の言うことを否定したり、決めつけたりしてはいけません。

／ かんちがいじゃない？

／ そのうち治るでしょ。

③相手が望む接し方を心がける

カミングアウトしたからといって、その人の人間性が変わるわけではありません。できるだけこれまでと変わらない関係を続けよう。また、今後のことについて、相手から要望を伝えてくれたら、応えるようにしよう。

「これからは〇〇と呼んでほしいな」

私たちは何ができるの？

多様な性について正しく知ってほしいですね。

ネガティブなことを言わない環境であればカミングアウトもしやすくなります。例えば、「男らしい」、「女らしい」ではなく、「その人らしさ」を尊重できるような環境づくりだったり。

自分に嘘をつかず、本当の自分で、正直に生きる生き方って、誰にとっても大切なことですよ。自分の周りには当事者はいない・・・ではなく、自分の身の回りにも必ずいる、そう思って自分のこととして人と話すように心がけてください。

そしてもし、自分の性(セクシュアリティ)で悩んでいる方がいたら、それは数が少ないだけで自然なことです。そのままでもいいんです。まずは、自分で自分を受け入れてあげてください。自分のことを分かってくれる人は、思っている以上に沢山います。変化を恐れずに、勇気を出して挑戦してみることも時には必要です。



性のあり方は多様です。性的少数者の方やその家族、パートナーの様々な悩みごとに関する相談をお受けします。お気軽にお電話ください。

性的少数者(LGBT)電話相談

電話番号 087-832-3222

相談日時 毎月 第1月曜日・第3土曜日
18:00~21:00 (年末年始を除く)

- ★こころの性とからだの性が一致せずに悩んでいる
- ★同性を好きになって悩んでいる
- ★職場の人や家族からLGBTだと打ち明けられて悩んでいる

※この電話は、香川県から委託された「プライド香川」(当事者及び支援者で組織)の相談員がお受けします。



一人でも悩まず相談してください

メールでの相談も受け付けています

プライド香川

info@proud-kagawa.org

※原則として1週間以内に返信します。

24時間
受付